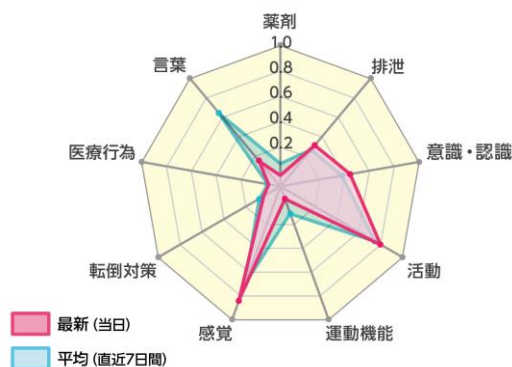


2022年3月24日

FRONTEO株の転倒転落予測 AI システム「Coroban」、 聖マリアンナ医科大学病院で導入

聖マリアンナ医科大学病院（所在地：神奈川県川崎市、病院長：大坪 毅人）では、株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 FRONTEO）が提供する転倒転落予測AIシステム「Coroban」を2022年4月より導入することをお知らせいたします。特定機能病院での本格運用は初の試みとなります。

Corobanは、FRONTEOが独自開発した自然言語処理AIエンジン「Concept Encoder（商標：conceptencoder、読み：コンセプトエンコーダー）」を活用し、電子カルテに記載された看護記録から転倒転落リスクを予測してアラートを表示するシステムです。2016年に開発に着手、2019年よりエーザイ株式会社とともに医療機関への販売を開始し、現在、医療機関での導入が進んでいます。2020年1月に特許を取得し（特許登録番号：特許第6652986号）、また同年3月、日本転倒予防学会推奨品に認定されています。



電子カルテに記載された看護記録を AI が解析し、転倒リスクを評価

■Corobanについて URL: <https://lifescience.fronteo.com/aidevice/coroban/>

CorobanはFRONTEOがエーザイ株式会社とともに開発した、人工知能Concept Encoderを利用した転倒転落予測システムです。Concept Encoderが電子カルテを読み込み、患者の状態や看護記録から転倒リスクを評価します。医療スタッフの負担を増やすことなく、従来の転倒リスク評価シートと同等の精度での予測が可能です。特許登録番号：特許第6652986号

*本システムは医療機器ではありません。本システムは転倒・転落のリスクを予測するものであり、医師・看護師の判断を意図するものではありません。

■Concept Encoderについて

URL : <https://lifescience.fronteo.com/technology/conceptencoder/>

「Concept Encoder（商標：conceptencoder、読み：コンセプトエンコーダー）」は、FRONTEOがライフサイエンス分野に特化して開発した自然言語解析AI（人工知能）です。自由記述のテキストデータを大量に含むメディカルデータを、エビデンスに基づいて有効に解析・活用することを目的に2018年に開発しました。「Concept Encoder」はテキスト以外のデータとの共解析も可能であり、ライフサイエンス領域に蓄積されてきた遺伝子発現情報・バイタルや各種検査値などの数値データとの共解析の研究を進めています。 特許登録番号：特許第6346367号

■FRONTEO について URL: <https://www.fronteo.com/>

FRONTEOは、自然言語処理に特化した自社開発AIエンジン「KIBIT」と「Concept Encoder」、「Loooca Cross」を用いて膨大な量のテキストデータの中から意味のある重要な情報を抽出し、企業のビジネスを支援する、データ解析企業です。2003年8月の創業以来、企業の国際訴訟を支援する「eディスカバリ（電子証拠開示）」や「デジタルフォレンジック調査」などのリーガルテック事業をメインに、日本、米国、韓国、台湾とグローバルに事業を展開してきました。同事業で培ったAI技術をもとに、2014年よりライフサイエンス分野、ビジネスインテリジェンス分野、経済安全保障へと事業のフィールドを拡大し、AIを用いて「テキストデータを知見に変える」ことで、創薬支援、認知症診断支援、金融・人事・営業支援など、様々な企業の課題解決に貢献しています。2007年6月26日東証マザーズ上場。2021年1月第一種医療機器製造販売業許可を取得（許可番号：13B1X10350）、同9月管理医療機器販売業を届出（届出番号：3港み生機器第120号）。資本金2,973,975千円（2021年3月31日現在）。

※FRONTEO、KIBIT、conceptencoderはFRONTEOの登録商標です。

※Corobanはエーザイ株式会社ならびにFRONTEOの登録商標です。

<報道関係者のお問合せ先>

株式会社 FRONTEO 広報担当

Email : pr_contact@fronteo.com

<ライフサイエンス AI 事業に関するお問合せ先>

株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部

<https://lifescience.fronteo.com/contact>